

よつ かい どう こ ぶ っ く り す と しょう がっ こう ちゅう がく ねん よう  
**四街道子どもブックリスト（小学校 中 学 年 用）**

小学校  
 ちゅうがくねん  
**中学年**  
 のみなさんへ

**イチ推しの本!**



よつかいどうし  
 四街道市がオススメする本です。ここにのっている“**推し本**”を、ぜひ読んでみてください!

**アラビアン・ナイト**

ディクソン編（岩波書店）



「アリ・ババと40人の盗賊」は、盗賊が宝を隠した岩山を開ける呪文「ひらけゴマ」を知ったことから始まる話です。欲張りなお兄さんの死や盗賊の仕返しを、召使の知恵と勇気で…。この他にも、アラビアの不思議で面白いお話がたくさん載っています。

**アンナの赤いオーバー**

アニタ・ローベル（評論社）



戦争が終わって物もお金もない時代。アンナの新しいオーバーが長い時間とたくさんの人の手によって作られるという実話に基づいたお話です。

**エルマーのぼうけん**

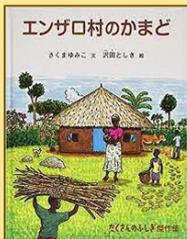
ルース・スタイルス・ガネット（福音館書店）



少年エルマーがりゅうを助けにどうぶつ島へとぼうけんに！はらはらドキドキ、続きが気になってどんどん読んでいきます。読み聞かせにもおすすめです。

**エンザロ村のかまど**

さくまゆみこ（福音館書店）



「豊かな生活を自国の力で支えられるようにする手助け」をした国際協力のモデルケースで、人の役に立つ喜びやその方法を知る良いきっかけになりそうです。

**大きい1年生と小さな2年生**

古田足日（偕成社）



体は大きいけれど泣き虫な1年生のまさやと、しっかり者の2年生のあきよ。ふたりの成長と友情のものがたりです。

**大どろぼうホツツェンプロツ**

プロイスラー（偕成社）



おばあさんの大切なコーヒーひきが、大泥棒にぬすまれてしまいました。コーヒーひきをとり返すために、二人の少年が大かつやくします。

**カランポーのオオカミ王**

ウィリアム・グリル（岩波書店）



知恵と勇気を持ち堂々と生きるオオカミ王ロボと、博物学者シートン。彼はロボと対決していくちに共感を深めてゆきます。「オオカミ王ロボ」を題材にシートンのその後を加えて描く物語です。

**がんばれヘンリーくん**

ベバリー・クリアリー（学研）



ヘンリーくんはどこにでもいるようなふつうの男の子。いつも何か面白いことが起こらないかと思っています。ところがある日、やせこけた犬をつれて帰ろうとしてから次々と事件が…。

**ごんぎつね**

新美南吉（金の星社 他）



身内を亡くし、ひとりぼっちになった兵十と自分を重ね合わせて、不器用なプレゼントを続けることで関係を築こうとするごんの姿に切なくなります。

**災害救助犬レイラ**

井上こみち（講談社）



みずからも足を怪我しながら、「少しでも人に喜んでほしい」という一途な思いで被災地へ赴き、懸命に活動を続ける災害救助犬レイラの姿に胸を打たれます。

**シートン動物記**

アーネスト・T・シートン（重心社）



作者のシートンは、多くの動物たちに囲まれて育ち、その動物たちをモデルに50作以上の物語を作りました。大切なことを動物たちが教えてくれる本です。

**ずーっとずっとだいすきだよ**

ハンス・ウィルヘルム（評論社）



「大好き」、「ありがとう」を家族に伝えることが大切なことだと教えてくれる犬のエルフィーと少年の心温まる物語です。

**すばこ**

イ・スンウォン（ほる出版）



『すばこ』は、人が作った鳥のお家です。100年ほど前に鳥が大好きな男爵が始めました。やさしい気持ちは、少し世界を変えることができたのかも。

**せかいでいちばんつよい国**

デビッド・マッキー（光村教育図書）



むかし、大きな国のだいたいようが小さな国へせめこもうとしました。でも、その人々はみんな親切。兵隊と仲長くなり、大統領も…。

**龍の子太郎**

松谷みよ子（講談社）



貧しい村に生まれたために食べるものがなく、みんなで分け合わなければいけない「いわな」を3匹も食べてしまったことで龍になってしまった母を探す太郎の冒険物語です。

## チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール (評論社)



はたらく人たちの姿を誰も見たことがない謎の工場へ5人の子どもたちが招待されることになりました。工場の秘密とは何か、どんどん引き込まれていく物語です。

## 月のかがく

えびなみつる (旬報社)



夜空の中でもっとも明るく、一番身近な天体、月。月の不思議と魅力をちよつと科学的に絵と写真で紹介しています。

## 手ぶくろを買いに

新美南吉 (岩崎書店 他)



子ぎつねを町へ送り出した母ぎつねの気持ち、買い物をする子ぎつねの気持ち、きつねと知りながらも、ちゃんと対応してあげる帽子屋さんの気持ちなど素敵な温かさを感じることができる本です。

## 天使のいる教室

宮川ひろ (童心社)



小児ガンのあきこちゃんはずん顔をたやさない天使のような子。先生とクラスメートは奇跡を願って…。実話にもとづいた感動の名作です。

## 天の町やなぎ通り

あまきみこ (あかね書房)



小さな郵便局に、さだし人のない「天の町」宛の手紙がくるようになりました。男の子は、天の町は、亡くなったお母さんが引越していった所だと言います。亡き母への手紙は届くのでしょうか。

## としょかんライオン

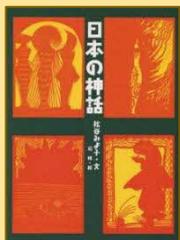
ケビン・ホークス (岩崎書店)



図書かんにライオンが来てはいけないというきまりはありません。しだいにライオンは図書かんになくてはならない存在になりますが、あるできごとがおこり…。

## 日本の神話

松谷みよ子 (のら書店)



古代人たちの豊かな想像力や願いから生まれた神々の物語を、美しい文と絵でおくります。

## 猫は生きている

早乙女勝元 (理論社)



戦争を知らない私たちにもその悲惨さが伝わってきます。どんな時代でも強くたくましく生きた家族とそれを見届けた猫の話です。

## のろのろひつじとせかせかひつじ

蜂飼耳 (理論社)



見晴らしの良い丘に住んでいる二匹のひつじ。2人の性格は正反対。それでも2人は友達でした。そんな2人の毎日とは？

## 花さき山

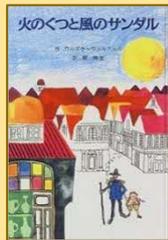
斎藤隆介 (岩崎書店)



あやは、山菜をとりに行った山で、いちめん咲く花を見ます。そこで出会った山んばは、人間のやさしさがきれいな花を咲かせるのだと語ります。

## 火のくつと風のサンダル

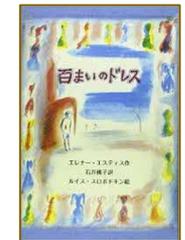
ウルズラ・ウェルフェル (童話館出版)



チムはじぶんがちびででぶなのがいやで、ほかの男の子になりたいと思っていました。それを知ったおとうさんがチムの誕生日に用意してくれたプレゼントは思いもかけないものでした。

## 百まいのドレス

エレナー・エステイス (岩波書店)



ワンダはからかわれるどドレスを百枚持っていると言えます。でも着てくるのはいつも青いワンピース一枚だけ。やがてワンダは学校に来なくなり…。

## ファールこんちゅう記

小林清之介 (小峰書店)



タマコロガシ・セミ・ハチ・カミキリシ…昆虫の秘密がわかる全7巻！小さな昆虫の世界と一緒に冒険してみませんか？

## ぼくは王さま

寺村輝夫 (理論社)



ふんわりあまいたまごやきが大好きな王さま。王子さまが生まれたお祝いにと、とびり大きなたまごやきをつくらうと「ぞうのたまごをとってこい」とめいれいします…。

## 「落語絵本」シリーズ

川端誠 (クレヨンハウス)



「じゅげむ」「まんじゅうこわい」など、子どもから大人まで楽しめる落語絵本。面白くて子どもにもすんなりと理解できる落語の入門としてオススメです。



気になる本はありましたか？

読み終わったら家族や友達に感想を伝えて、読書の輪を広げましょう！

市内で本の貸し出しをしている

学校の図書館・四街道市立図書館・四街道公民館・旭公民館・千代田公民館

でも探してみよう！